

階層別屋内地理空間情報データ仕様書(案)

平成 30 年 3 月

(平成 31 年 3 月一部修正)

国土地理院

目次

1.はじめに.....	1
1.1.「階層別屋内地理空間情報データ仕様書(案)」について	1
1.2.本仕様書(案)作成にあたっての他委員会等との連携	1
1.3.本仕様書(案)の利用者	1
2.基本方針	2
2.1.基本方針	2
2.2.使用するフォーマット	2
2.3.言語に依存したデータと文字コード	2
2.4.作成する地図データ	2
2.5.シェープファイルの命名規則	3
2.6.データ ID	3
3.データの階層構造	3
3.1.データの階層構造	3
3.2.データ管理者	4
3.3.施設	4
3.4.建物躯体	4
3.5.階層	4
4.階層	4
4.1.階層の定義	4
4.2.階層名と階層数	5
5.座標系	6
6.データファイル	6
6.1.ディレクトリ構成	6
6.2.メタデータ	6
7.作成する地図データ	7
7.1.地物データ	7
7.2.ネットワークデータ	8
7.3.POI データ	8
7.4.アンカーポイントデータ	8
7.5.パブリックタグデータ	8
7.6.各データ間の相互関係	9
8.データ仕様	9
8.1.地物データ	9
8.1.1.施設	9
8.1.2.建物躯体	10

8.1.3.階層	11
8.1.4.物理的な空間	12
8.1.5.固定設置物	13
8.1.6.任意設定空間	14
8.1.7.出入口	15
8.1.8.描画用地物	15
8.1.9.視覚障害者誘導用ブロック等(点)	16
8.1.10.視覚障害者誘導用ブロック等(線)	17
8.2.ネットワークデータ	19
8.2.1.ノード	19
8.2.2.リンク	20
8.3.POI データ	23
8.3.1.設備 POI	23
8.3.2.占有者 POI	23
8.4.アンカーポイントデータ	25
8.4.1.建物間接続点	25
8.4.2.階層間接続点	26
8.5.パブリックタグ	27
9.その他のデータ	29
9.1.メタデータファイル	29
9.2.施設管理ファイル	30
9.3.フロア管理ファイル	30
9.4.位置参照点	30
9.5.言語依存データ	31
【別表】地物データ、POI データのカテゴリー一覧	32
別表 8.1.1.施設のカテゴリー	32
別表 8.1.4.物理的な空間のカテゴリー	32
別表 8.1.5.固定設置物のカテゴリー	34
別表 8.3.1.設備 POI のカテゴリー	35
別表 8.3.2.占有者 POI のカテゴリー	38

1. はじめに

1. 1. 「階層別屋内地理空間情報データ仕様書（案）」について

「階層別屋内地理空間情報データ仕様書（案）」（以下、「本仕様書（案）」という。）は、国土交通省総合技術開発プロジェクト「3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発」（以下、「3次元総プロ」という。）の研究成果の一部である。本仕様書（案）は、駅、空港、地下街及び競技場等の公共的屋内空間を主対象とし（ただし、対象となる施設の敷地内の屋外空間も含む）、階層別の地理空間情報データに関わる一般的な地図データの仕様について規定するものである。

1. 2. 本仕様書（案）作成にあたっての他委員会等との連携

本仕様書（案）は、3次元総プロのほか、以下の委員会等における検討内容を踏まえて作成されたものである。

- ① 「ICTを活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」（国土交通省政策統括官付）
- ② 「高精度測位社会プロジェクト検討会」（国土交通省国土政策局）
- ③ 「平成 27 年度高精度測位社会の実現に向けた屋内外シームレスな電子地図に関する検討業務」（国土交通省国土政策局）及び「平成 27 年度屋内外の測位環境を活用した多様なサービス創出の環境づくりに関する検討業務」（国土交通省国土政策局）
- ④ 「位置情報基盤ワーキンググループ」（国土地理院）
- ⑤ 「平成 28 年 歩行者移動支援サービスの展開に向けた環境整備」（国土交通省総合政策局）
- ⑥ 「平成 28 年度屋内外の電子地図等を活用した屋内外シームレスなサービス実証の実施に関する業務」（国土交通省国土政策局）
- ⑦ 「平成 28 年度屋内外の電子地図等を活用した多様な位置情報サービス創出に向けた環境作りに関する検討業務」（国土交通省国土政策局）
- ⑧ 「平成 29 年度屋内外シームレスな電子地図等を活用した多様な位置情報サービスの創出検討業務」（国土交通省国土政策局）
- ⑨ 「平成 29 年度 歩行者移動支援サービスの展開に向けた環境整備業務」（国土交通省総合政策局）

1. 3. 本仕様書（案）の利用者

本仕様書（案）に基づいて整備された階層別屋内地理空間情報データ（以下、「階層別地図データ」という。）は、屋内空間を含むナビゲーション等のサービスに利用されることを想定している。そのため本仕様書（案）の直接的な利用者は、階層別地図データを作成する者（地図調製事業者等）と、このデータを利用した屋内空間のナビゲーション等のサービスを提供する者（アプリケーションサービス事業者等）を想定している。また、国土交通省国土政策局「高精度測位社会プロジェクト」において推進する G 空間情報センターを核とした屋内電子地図の整備・流通に当たっては、本仕様書（案）に基づいて整備された屋内電子地図であることを想定している。そのため、本仕様書（案）で規定されるデータの範囲は、それらの利用者が地図を利用・作成する際に必要となる基盤的なものとする。

2. 基本方針

2.1. 基本方針

本仕様書（案）で規定する主要な地図データは、3次元モデルデータ（CIM、BIM、3次元CADデータ）、2次元のCADデータや図面（平面図、設備管理図、CIM、BIMから出力された平面図を含む）、公開されているフロアマップ、あるいは「3次元屋内地理空間情報データ仕様書（案）」に基づいて整備された3次元屋内地理空間情報データ（以下、「3次元地図データ」という。）等を原典資料として、点、線、面といった2次元で表現が可能であり、GIS上で作成、維持更新が可能なデータを基本とする。そのため、データ形式は、GISではデファクトスタンダードである、シェープファイル形式を基本とする。

また、本仕様書（案）は、既存の屋内地図サービスアプリケーションの地図仕様、既存の屋内地理空間情報等に関する国際的なデータ仕様（CityGML、IndoorGML等）、BIM（Building Information Modeling）の分野においてデータ交換フォーマットとして利用されているIFC（Industry Foundation Classes：ISO:16739）等の調査結果を踏まえ、今後増えてゆくであろうBIMによる3次元モデルデータとの連携を念頭に作成されたものである。本仕様書（案）が、国内のみならず、国際的にも利用可能な屋内空間における基盤的な地理空間情報データの仕様書として広く活用されることを期待している。

2.2. 使用するフォーマット

先述の通り、使用する地図データのフォーマットは、シェープファイル形式を基本とし、作成される階層別地図データは、シェープファイルの規則に従うものとし、以下の4つから構成する。

- ①メイン・ファイル（拡張子：.shp）
- ②インデックス・ファイル（拡張子：.shx）
- ③属性ファイル（dBASE ファイル）（拡張子：.dbf）
- ④プロジェクトファイル（拡張子：.prj）

シェープファイル以外のデータについては、XML ファイル、CSV ファイルにて作成するものとする。

2.3. 言語に依存したデータと文字コード

本仕様書（案）で扱うデータのうち、言語により表現が異なるデータを、言語依存データと呼ぶ。言語依存データは、シェープファイルの属性データ上では日本語により表記する。日本語以外の言語については、別途CSVファイルで管理する。CSVファイルで使用する文字コードは、utf-8（BOMなし）とする。

2.4. 作成する地図データ

本仕様書（案）で規定する地図データは、以下の5種類である。

- ①地物データ：屋内空間に係る建物の形状、部屋、設置物等を表現するデータ。
- ②ネットワークデータ：歩行者ナビゲーション等に利用するためのネットワークデータ。歩行経路を示す「リンク」及びリンクの結節点である「ノード」から構成されるデータ。
- ③POI データ：取得する地物等を代表する点やある場所の位置を特定するためのデータで、点の形で整備されるデータ。POI データは、ナビゲーション等の目的地等に利用される。なお、POI とは、“Point of Interest” の略である。

- ④アンカーポイントデータ：異なる施設管理者が作成した地図データを接合する際や、上下階層間を接続するための情報を格納したデータ。建物の出入口や階段、エスカレーター、エレベーター等のノードを紐づけて管理するためのデータ。
- ⑤パブリックタグデータ：屋内測位及び屋内におけるナビゲーションのために用いられる無線タグのうち、パブリックタグとして登録されたタグを表すデータ。

2.5. シェープファイルの命名規則

シェープファイルのファイル名は、「施設名_データ名称」又は「施設名_階層名_データ名称」とする。前者は地物データのうち施設データ及び建物躯体データに適用し、後者はそれ以外のデータに適用する。「施設名」は、任意に設定可能であるが、可能な限り分かりやすい表現とし、アルファベットで記述する。「階層名」は、施設管理者の定義に従う。例えば、地上1階以上は1、2、3、…と数字のみで表記し、地下1階以下は、B1、B2、B3…と数字の前にBを付けて表記する。建物の外側（屋外）のグランドレベル（地表面）の階層については、0と表記する。また、中2階等の中層階は、M2と数字の前にMをつけて表記する。

「施設名_データ名称」の例

JRTokyoSt_Site.shp（JR 東京駅の施設データ）

JRTokyoSt_Building.shp（JR 東京駅の建物躯体データ）

「施設名_階層名_データ名称」の例

MARUBIRU_1_Space.shp（丸ビルの1階の物理的な空間データ）

MaruOtemati_B1_Fixture.shp（東京メトロ丸ノ内線大手町駅の地下1階の固定設置物データ）

※施設名のアルファベットの大文字、小文字は任意とする。

2.6. データ ID

本仕様書（案）で規定する地図データは、1つ1つの図形を識別するためのデータ ID を属性データに保有する。データ ID は、データセット内でユニークであることを要件とし、UUID や場所情報コードの使用を推奨する。

UUID は、Universally Unique Identifier の略称で、ソフトウェア上でオブジェクトを一意に識別するための識別子である。UUID は 128 ビットの数値だが、十六進法による 32 桁の文字列により表現する。場所情報コードは、国土地理院が推進するパブリックタグ構想の中に位置づけられ、情報通信分野で使われる ucode に準拠したコードで、緯度、経度、高さ（階層）を元に国土地理院によって発番される ID である。各図形の重心の緯度、経度、高さ（階層）から決定される十六進法による 32 桁の文字列となっている。

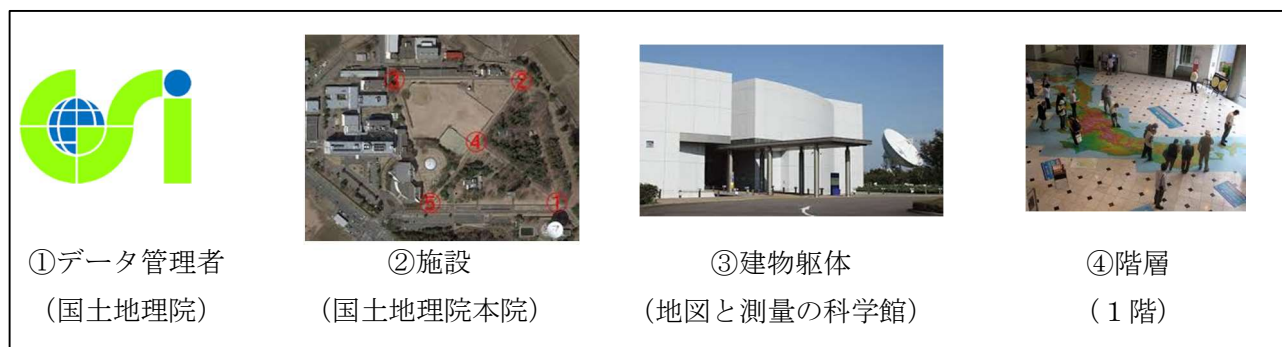
データ ID により、1つ1つの図形はデータセット内で固有の ID を持つ。

3. データの階層構造

3.1. データの階層構造

本仕様書（案）に基づく地物データ、POI データは、本仕様で定める意味での「階層」ごとに管理す

る（以下、「」を用いず単に階層と表記する）。階層を定義するためのデータの論理的な階層構造は、「データ管理者－施設－建物躯体－階層」とする。



3.2. データ管理者

データ管理者は、そのデータの作成、維持等のプロジェクトに関して責任を持つ者である。例えば、データの作成、維持を行う者が国土地理院の場合には、国土地理院とする。

3.3. 施設

施設は、データ管理者が一体として整備するデータの範囲である。つまり、複数の建物をまとめる単位が施設である。例えば、国土地理院本院の場合、この中には、国土地理院本館、情報サービス館、地図と測量の科学館等複数の建物が含まれる。なお、1つの施設が1つの建物で構成されることもある。

3.4. 建物躯体

建物躯体は、ビル、地下道、駅等、施設管理者が施設管理をする際に一体とみなす建物等の範囲である。例えば、施設「国土地理院本院」の中には、国土地理院本館、情報サービス館、地図と測量の科学館等が含まれる。

3.5. 階層

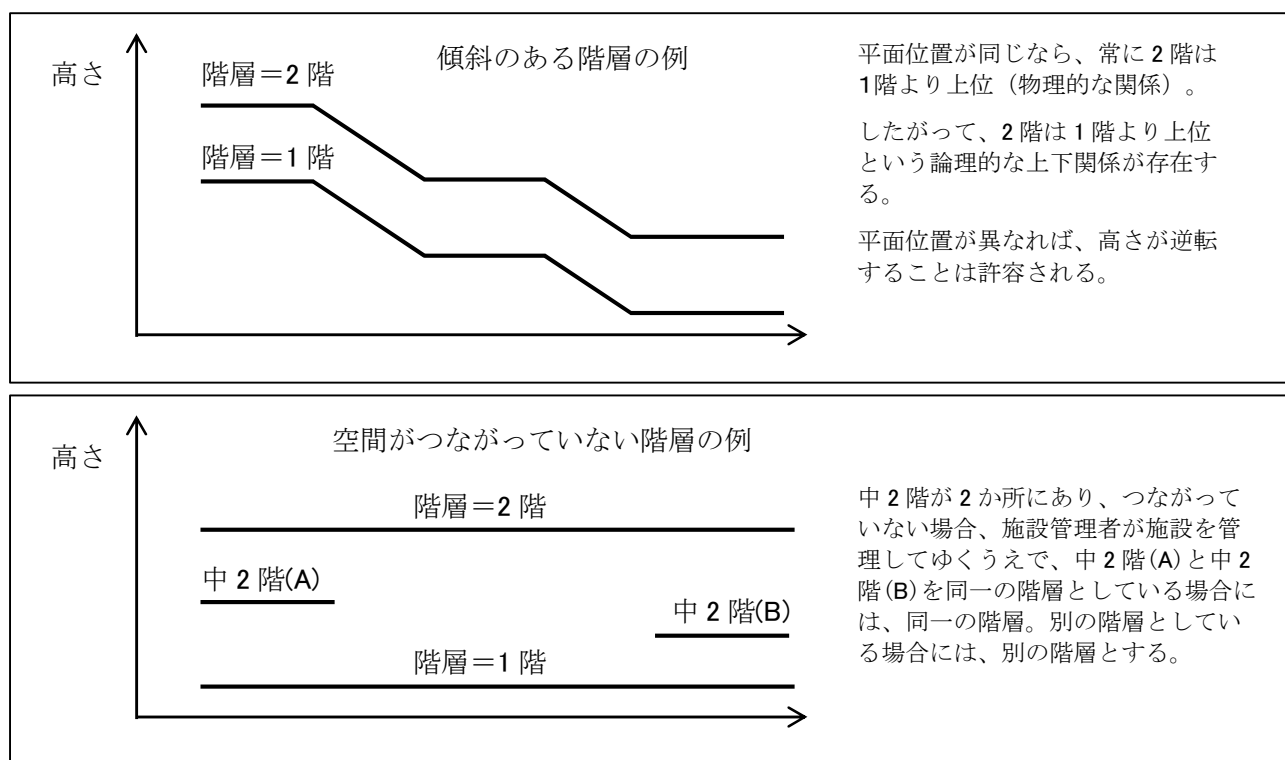
階層は、施設管理者が施設管理を行う上で、定義している1つの階層の範囲とする。階層は、施設管理者により任意の数の階層に分割することができる。なお、異なる施設管理者の施設が隣接し、一体の空間となっていて、施設管理者が異なる階層を定義している場合、施設利用者の目には1つの階層と見える空間であっても、異なる階層となることがある。

4. 階層

4.1. 階層の定義

本仕様書（案）でいう階層は、地下2階、地下1階、グランドレベル（地表面）、1階、2階・・・等の施設の階層を指す。これは、施設管理者によって設定されているものである（シェープファイルの属性項目としては「階層名」としてデータが記述される）。一方、同一の施設内の異なる階層の間には、一意な論理的上下関係が存在し、平面位置を特定した場合は、同一の施設内の上位の階層は、下位の階層より上方に存在するという物理的な関係が存在する。なお、1つの階層が段差、階段等で異なるいくつか

の高さに分かれている場合や階段やスロープ等で傾斜している場合であっても、空間的に連続していれば、正射投影による1つの2次元の面として扱う。



4.2. 階層名と階層数

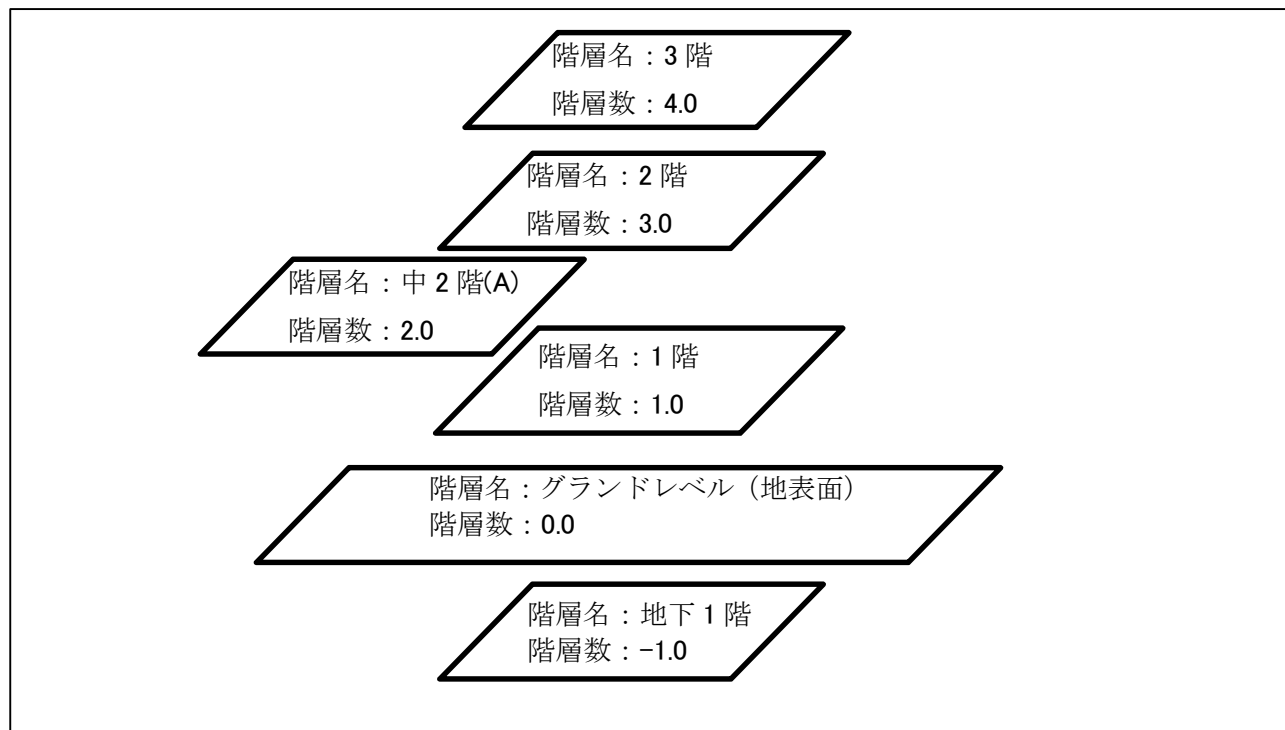
階層の情報は、「階層名」と「階層数」という形で、シェープファイルの属性値として記述する。「階層名」は、施設管理者が定義した階層の呼び名（ラベル）である。屋内空間では建築基準法の規定により、各階層の呼び名が施設管理者によって決められている。「階層数」は、「階層名」と異なり、作成した階層別地図データのナビゲーション等のアプリケーションでの体系的な利用を容易にするために設定した論理的な階層の数値である。「 $\cdots -3.0$ 、 -2.0 、 -1.0 、 0.0 、 1.0 、 2.0 、 $3.0 \cdots$ 」のように小数第1位までの数値で記述し、建物外（屋外）のグランドレベル（地表面）の階層数を「 0.0 」とする。

階層数は、同一建物内の階層の論理的な上下関係を示す数値である。例えば、1階は「 1.0 」、2階は「 2.0 」、地下1階は「 -1.0 」、建物外（屋外）のグランドレベル（地表面）は「 0.0 」というように設定する。なお、中層階、例えば、中2階がある場合、階層名は施設管理者の定義に従い「中2階」等の名称をつけることが可能であるが、階層数は「 2.0 」となる。したがって、中2階の上階である「2階」の階層数は「 3.0 」、その上階の「3階」の階層数は「 4.0 」となる（下図参照）。建物の改築等により、階層名2階と3階の間に新たに中3階が発生した場合、階層数は「 3.1 」～「 3.9 」の間の任意の小数で定義することができる。

ただし、階層数は、場所情報コードの階層とは異なるので注意が必要である。場所情報コードは、中層階を全て「 0.5 」と表現するため、場所情報コードの使用を想定する場合、中2階は「 1.5 」、2階は「 2.0 」、中3階は「 2.5 」、3階は「 3.0 」として設定することが望ましい。

また、施設によっては、異なる複数の階層から屋外の地表面に出ることが可能である。例えば、1階

と3階に屋外への出入口のある施設で、1階の階層数を「1.0」、3階の階層数を「3.0」と設定した場合、屋内から屋外へ出ようとする、階層数が「1.0→0.0」や「3.0→0.0」と言う形で遷移する。このほか、異なる施設管理者の施設が隣接し、一体の空間となっており、施設利用者の目には1つの階層と見える空間であっても、施設の境界線を境として、相互の階層数が異なることがある。



5. 座標系

本仕様書（案）で扱うデータの座標系は、世界測地系緯度経度とする。

JGD2011 / (B, L):世界測地系 / 緯度経度

6. データファイル

6.1. ディレクトリ構成

本仕様書（案）で規定するデータを媒体に格納する場合、1つのディレクトリ内に配置する。ここでは、このディレクトリを「/」と仮定して説明する。なお、このディレクトリは、必ずしも媒体のルートディレクトリに配置される必要はない（例えば、同一の媒体に、仕様書と成果物を格納したり、複数のプロジェクトデータを格納したりすることが想定される）。

プロジェクト全体に関わるファイルは、「/」に配置する。地物データの施設及び建物躯体のシェープファイルは、「/施設」に格納する。階層に関するファイルは、「/施設/階層」に配置する。その他の地物データやPOIデータの各シェープファイルは、階層ごとに構成するため、「/施設/階層」に配置する。

6.2. メタデータ

プロジェクトの主要な情報を一括して管理するメタデータをXML形式で作成し、プロジェクト全体に関するデータを記述する。

プロジェクトの主要な情報とは、以下のとおり。

①データ要約

格納されたデータの内容について簡潔に記述する。

②データ管理者

データ管理者名を記述する。

③プロジェクト

プロジェクト名、該当プロジェクトに含まれる施設等について記述する。

④施設

シェープファイルのファイル名となっている施設についての概要を記述する。また、該当施設に含まれる建物数や建物名を記述する。

⑤データ作成年月日

データ作成年月日を記述する。

⑥原典資料情報

格納されたデータの作成にあたって使用した原典資料についての情報を記述する。原典資料名、原典資料作成者、原典資料作成年月日、原典資料データ形式（電子データの場合、データフォーマットについても記述する。原典資料が紙媒体の場合には、その旨記述する）、原典資料の精度（縮尺等図面の精度が分かる情報）等を記述する。複数の原典資料を用いる場合、全ての原典資料を記述する。

⑦加工編集方法

格納されたデータの加工編集方法を記述する。

⑧現地調査

現地調査の有無を記述する。原典資料と現地調査の結果、現地調査の情報をデータに反映した場合には、その内容について記述する。

7. 作成する地図データ

先述の通り、本仕様書（案）で規定するシェープファイルは、①地物データ、②ネットワークデータ、③POI データ、④アンカーポイントデータ及び⑤パブリックタグデータの 5 種類である。各データを一覧表にまとめた。なお、表には、拡張子「.shp」のみを掲載し、拡張子「.dbf」「.shx」「.prj」については省略した。また、ファイル名の「施設名_階層名_データ名称」のうち、データ名称より前につける「施設名_階層名」は省略した。

7.1. 地物データ

地物データは、地物図形データと描画用図形データとに大別される。

No.	大分類	小分類	データ名称	ファイル名	シェープタイプ
1	地物用図形データ	施設	施設データ	Site.shp	Polygon 又は MultipartPolygon
2	地物用図形データ	建物躯体	建物躯体データ	Building.shp	Polygon 又は MultipartPolygon
3	地物用図形データ	階層	階層データ	Floor.shp	Polygon 又は MultipartPolygon
4	地物用図形データ	物理的な空間	物理的な空間データ	Space.shp	Polygon 又は MultipartPolygon
5	地物用図形データ	固定設置物	固定設置物データ	Fixture.shp	Polygon 又は MultipartPolygon
6	地物用図形データ	任意設定空間	任意設定空間データ	Segment.shp	Polygon 又は MultipartPolygon

7	地物用図形データ	出入口	出入口データ	Opening.shp	PolyLine
8	描画用地物データ	描画用地物	描画用地物データ	Drawing.shp	PolyLine 又は MultipartPolyLine
9	地物用図形データ	視覚障害者誘導用ブロック等(点)	視覚障害者誘導用ブロック等点データ	TWSI_Point.shp	Point
10	地物用図形データ	視覚障害者誘導用ブロック等(線)	視覚障害者誘導用ブロック等線データ	TWSI_Line.shp	PolyLine

7.2. ネットワークデータ

ネットワークデータは、歩行経路の起終点、交差点等を示す点形式のノードと、歩行経路の位置、形状を示す線形式のリンクとに大別される。仕様は、国土交通省政策統括官付が策定した「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案」（2018年3月）を準用する。

ただし、本仕様により作成される屋内地図データが整備される範囲には、必ず施設管理者が存在する。そのため、リンクデータの「経路の構造」は、そのリンクが屋外にあるか屋内にあるかに関わらず、施設内の通路として取得し、屋外か屋内かの別は、屋根の有無によって定義する。

No.	データ名称	ファイル名	シェープタイプ	備考
1	ノードデータ	node.shp	Point	
2	リンクデータ	link.shp	PolyLine	

7.3. POI データ

POI データは、設備 POI と占有者 POI とに大別される。

No.	データ名称	ファイル名	シェープタイプ	備考
1	設備 POI データ	Facility.shp	Point	
2	占有者 POI データ	Occupant.shp	Point	

7.4. アンカーポイントデータ

アンカーポイントデータは、空間の接続関係を示す点形式のデータで、建物間の接続関係を示す建物間接続点と、階層間の接続関係を示す階層間接続点とに大別される。

No.	データ名称	ファイル名	シェープタイプ	備考
1	建物間接続点データ	Build_Connect.shp	Point	
2	階層間接続点データ	Floor_Connect.shp	Point	

7.5. パブリックタグデータ

パブリックタグデータは、国土地理院が策定した「位置情報基盤を構成するパブリックタグ情報共有のための標準仕様」に則って登録されたタグの位置を示す点形式のデータで、パブリックタグとして登録された際に発行される場所情報コードを属性情報として保有する。

No.	データ名称	ファイル名	シェープタイプ	備考
1	パブリックタグデータ	Publictag.shp	Point	

なお、「位置情報基盤を構成するパブリックタグ情報共有のための標準仕様」については、以下を参照さ

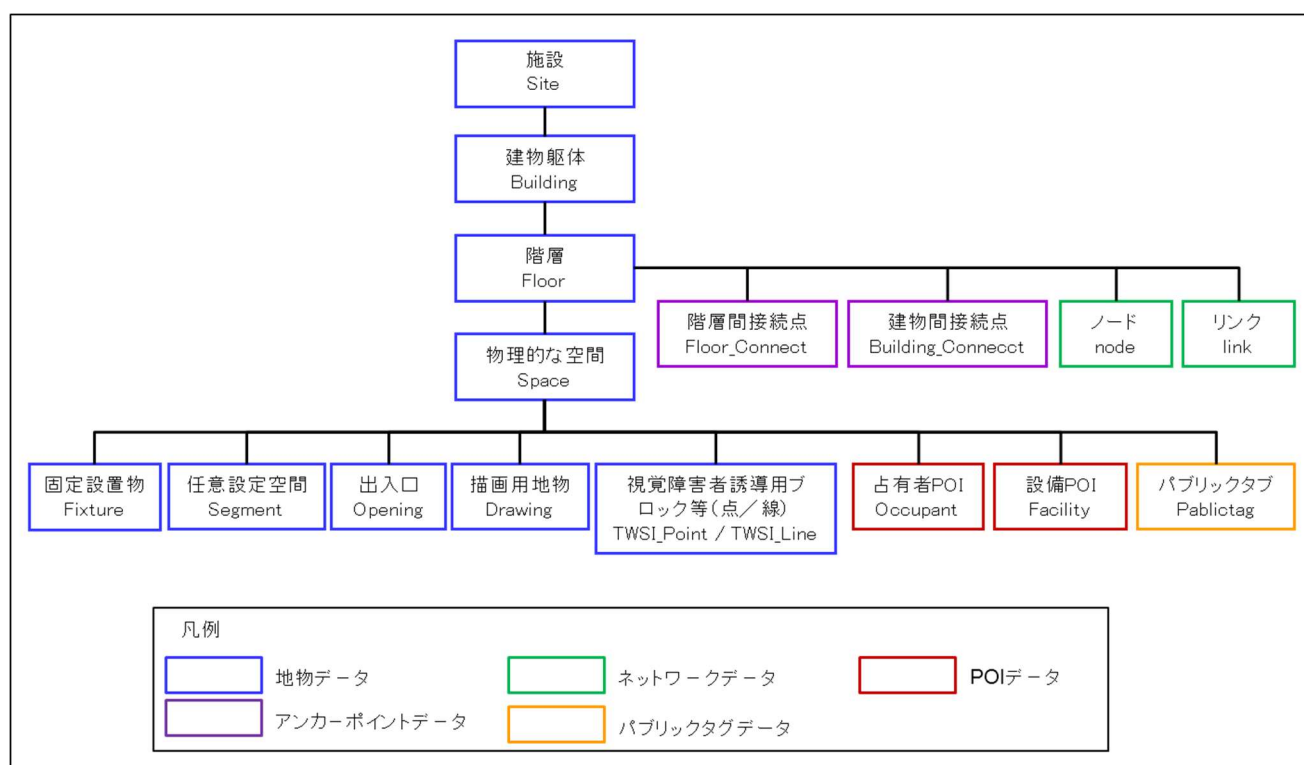
りたい。

https://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/field_test/index.html

https://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/document/1_shiryo.pdf

7.6. 各データ間の相互関係

地物データ、ネットワークデータ、POIデータ、アンカーポイントデータ及びパブリックタグデータの相互関係（階層構造）を、次に示す。



8. データ仕様

8.1. 地物データ

8.1.1. 施設

項目分類	
大分類	地物用図形データ
小分類	施設
データ名称	施設データ
ファイル名	Site.shp
シェープタイプ	Polygon 又は MultipartPolygon
定義	施設管理者が管理する施設の概要、施設の範囲(施設敷地領域)を示す。
取得基準	- 施設は別の施設を包含してはならない。 - 施設の境界線は、その施設内に含まれる他の地物データと交差あるいは重複してはならない。 - 施設は interior ring(ドーナツポリゴン)を持たない。

	- 施設の境界線は他の施設境界線を共有できない。 - 他の地物はすべて、施設に内包される。				
主な原典資料	フロアマップ、設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、3 次元地図データ等				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	施設の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	postalcode	text	郵便番号	151-0053	
	country	text	国	日本	
	province	text	都道府県	東京都	
	city	text	市区町村	渋谷区	
	address1	text	住所 1	代々木〇丁目	
	address2	text	住所 2	〇番〇号	
	address3	text	住所 3		
	address4	text	住所 4		
	category	text	施設のカテゴリー	別表 8.1.1.施設のカテゴリー参照	
	hours1	text	施設の営業時間(平日)	07:00-17:00、18:00-22:00	平日でも曜日により営業時間が異なる場合は、各曜日の営業時間を記載
	hours2	text	施設の営業時間(土日祝祭日)	土・日 09:00-18:00、祝祭日 09:30-17:00	土曜日、日曜日、祝祭日で時間が異なる場合は、それぞれ営業時間を記載
	name	text	施設の名称	Shinjuku 〇〇 Tower	
	phone	text	施設の電話番号	03-0000-0000	
	website	text	施設のウェブサイトアドレス (URL)	http://www.....	
	source	text	原典	1:フロアマップ 2:CAD データ 3:BIM データ 4:3 次元地図データ 9:その他	

8.1.2. 建物躯体

項目分類	
大分類	地物用図形データ
小分類	建物躯体
データ名称	建物躯体データ

ファイル名	Building.shp				
シェープタイプ	Polygon 又は MultipartPolygon				
定義	施設に含まれる建物の概要、建物の範囲を示す。				
取得基準	・ 建築物の外壁、柱の中心線で囲まれた範囲を面データとして取得する。 ・ 1つの施設内に複数の建物躯体が存在してよい。 ・ 1つの建物躯体は別の建物躯体に内包されない。				
主な原典資料	フロアマップ、設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、3 次元地図データ等				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	建物躯体の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	postalcode	text	郵便番号	151-0053	
	country	text	国	日本	
	province	text	都道府県	東京都	
	city	text	市区町村	渋谷区	
	address1	text	住所 1	代々木〇丁目	
	address2	text	住所 2	〇番〇号	
	address3	text	住所 3	新宿〇〇タワー	
	address4	text	住所 4		
	name	text	建物躯体の名称	Shinjuku 〇〇 Tower	
	source	text	原典	1:フロアマップ 2:CAD データ 3:BIM データ 4:3 次元地図データ 9:その他	

8.1.3. 階層

項目分類	
大分類	地物用図形データ
小分類	階層
データ名称	階層データ
ファイル名	Floor.shp
シェープタイプ	Polygon 又は MultipartPolygon
定義	建物内の各階の範囲を示す。また、施設の範囲内で、建物躯体外側の範囲(屋外のグラウンドレベル)も 1 つの階とする。
取得基準	・ 建物内の各階の範囲を面データで取得する。 ・ 建物躯体の中には1つ以上の階層が含まれる。

	・ 施設の範囲内で、建物躯体外の範囲は、屋外空間であり、階層数が 0.0 の階層データとして取得する。				
主な原典資料	フロアマップ、設備・施設管理図（CAD、BIM データ等）、3 次元地図データ等				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	階層の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	category	text	屋内外区分	1:indoor 2:outdoor	屋根の有無で判定
	name	text	階層名	地下 2 階、地下1階、グランド レベル、1階、中 2 階・・・	施設管理者の設定する階層 の名称
	ordinal	float	階層数	-2.0、-1.0、0.0、1.0、2.0・・・	数値（小数第 1 位まで）
	short_name	text	フロアの通称	地下 1 階△△△フロア	施設管理者の設定する階層 の名称の略称
	source	text	原典	1:フロアマップ 2:CAD データ 3:BIM データ 4:3 次元地図データ 9:その他	

8. 1. 4. 物理的な空間

項目分類					
大分類		地物用図形データ			
小分類		物理的な空間			
データ名称		物理的な空間データ			
ファイル名		Space.shp			
ファイルタイプ		Polygon 又は MultipartPolygon			
定義		階層内に存在する部屋、階段、エスカレーター、スロープ等の範囲を示す。			
取得基準		・ 原典資料に従い、利用目的ごとに区切られた部屋の範囲の形状を、面データとして取得する。 ・ 壁の内側（部屋側）の範囲を取得する。 ・ 部屋に含まれない通路、廊下、コンコース等の空間も1つの物理的な空間として取得する。 ・ 階層の外に物理的な空間があってはならない。 ・ 吹抜けの範囲、階段の範囲、スロープの範囲、駐車場、プラットホーム、通路/コンコース、ペDESTリアンデッキ、歩道橋及び屋外に独立して存在している柱の範囲は、物理的な空間から除外する。なお、柱の周囲が壁等で囲まれている場合は、その壁等を含む範囲を柱の範囲として、物理的な空間から除外する。			
主な原典資料		フロアマップ、設備・施設管理図（CAD、BIM データ等）、3 次元地図データ等			
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考

	id	text	物理的な空間の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	category	text	該当する物理的な空間のカテゴリのコード	別表 8.1.4.物理的な空間のカテゴリ参照	
	floor_id	text	物理的な空間が紐づけられている階層の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	name	text	物理的な空間に付けられた名称	JR 東日本みどりの窓口	
	restricted	text	業務用エリア等一般の人の進入制限の有無を示す	1:進入制限あり 2:進入制限なし	
	suite	text	地図表示用の注記ラベル	みどりの窓口	
	nonpublic	text	地図情報としての公開可否を示す	1:公開不可 2:公開可	
	toll	text	有料施設	1:不明 2:有料 3:無料	
	source	text	原典	1:フロアマップ 2:CAD データ 3:BIM データ 4:3 次元地図データ 9:その他	

8.1.5. 固定設置物

項目分類					
大分類		地物用図形データ			
小分類		固定設置物			
データ名称		固定設置物データ			
ファイル名		Fixture.shp			
シェープタイプ		Polygon 又は MultipartPolygon			
定義		柱、家具、自動販売機、障害物、植物（植栽）、壁、水面等移動の障害となる固定された設置物の範囲を示す。 なお、固定された設置物とは、必ずしも物理的に床、壁、天井等に固定されている必要はないが、日々移動してしまうような設置物（看板、机、椅子・・・）は除く。			
取得基準		・ 原典資料に従い、固定設置物の範囲を面データとして取得する。 ・ 固定設置物は同一階層内で他の固定設置物の境界線と重なってはならない。			
主な原典資料		フロアマップ、設備・施設管理図（CAD、BIM データ等）、3 次元地図データ等			
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考

	id	text	固定設置物の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	category	text	該当する固定設置物のカテゴリのコード	別表 8.1.5.固定設置物のカテゴリ参照	
	floor_id	text	固定設置物が紐づけられている階層の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	source	text	原典	1:フロアマップ 2:CAD データ 3:BIM データ 4:3 次元地図データ 9:その他	

8.1.6. 任意設定空間

項目分類					
大分類		地物用図形データ			
小分類		任意設定空間			
データ名称		任意設定空間データ			
ファイル名		Segment.shp			
シェープタイプ		Polygon 又は MultipartPolygon			
定義		施設管理者により任意に設定された空間の範囲を示す。 例)JR 東京駅付近の場合、GRANSTA、黒塀横丁、Kitchen Street、北町ダイニング、GRANROOF、GRANROOF FRONT、GranAge、KITTE GRANCHE、味の散歩道、八重洲地下街、東京駅一番街等の施設管理者により任意に設定された空間の範囲 参照 http://www.tokyoinfo.com/shop/mall/			
取得基準		・ 1 つ以上の物理的な空間を含む。 ・ 施設管理者の設定に従う。			
主な原典資料		フロアマップ、設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、3 次元地図データ等			
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	任意設定空間の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	floor_id	text	任意設定空間が紐付けられている階層の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	name	text	名称	GRANSTA、黒塀横丁、八重洲地下街、東京駅一番街・・	
	source	text	原典	1:フロアマップ 2:CAD データ 3:BIM データ 4:3 次元地図データ	

			9:その他	
--	--	--	-------	--

8.1.7. 出入口

項目分類					
大分類	地物用図形データ				
小分類	出入口				
データ名称	出入口データ				
ファイル名	Opening.shp				
シェープタイプ	PolyLine				
定義	部屋の出入口、スロープ、エスカレーター、エレベーター、階段の乗降口、駅の改札、施設(建物)境界線等の出入口を線データで取得したもの。				
取得基準	・ 部屋の出入口、スロープ、エスカレーター、エレベーター、階段の乗降口、駅の改札、施設(建物)境界線等の出入口を線データで取得する。 ・ 出入口は物理的な空間の境界線の一部と重複してはいなければならない。 ・ 原則として物理的な空間には、少なくとも1つの出入口を取得しなければならない。ただし、公開不可の物理的な空間については、出入口を取得しなくてもよい。				
主な原典資料	フロアマップ、設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、3次元地図データ等				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	出入口の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	floor_id	text	出入口が紐付けられている階層の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	name	text	名称	出入口の名称(八重洲地下中央口、北側出入口…)	
	source	text	原典	1:フロアマップ 2:CAD データ 3:BIM データ 4:3次元地図データ 9:その他	

8.1.8. 描画用地物

項目分類	
大分類	描画用地物データ
小分類	描画用地物
データ名称	描画用地物データ
ファイル名	Drawing.shp
シェープタイプ	PolyLine 又は Multipart PolyLine

定義	階段の踏み段の線、段差の線、線路、ラインで描画可能な展示物、回転ドアの形、ボーディングブリッジ、スタジアムの座席等で、物理的な空間や固定設置物のうち、主として歩行者ナビゲーションの観点から目印となり得る地物を線として描画するもの。				
取得基準	・ 描画用地物の頂点および線分は階層の範囲内にあること。 ・ 物理的な空間のうち“restricted”で“進入制限あり”とした範囲内では描画用地物を取得しない。 ・ 描画用地物相互の位置関係および距離に留意する。 ・ 描画用地物の線分の交差（自己交差も含む）はしてもよいが、重複はしてはならない。 ・ 物理的な空間の内部において意味を持つ線分は、その物理的な空間からはみ出してはならない。例えば、物理的な空間“階段の範囲”に描画する階段の踏み段の線は、“階段の範囲”からはみ出してはならない。				
主な原典資料	フロアマップ、設備・施設管理図（CAD、BIM データ等）、3 次元地図データ等				
補足事項等	描画用地物データは、本仕様書（案）に基づいて整備された地理空間情報データを用いて可視化された地図を、主として人が見た時に、その地図を理解しやすくすることを目的に描かれる地物データである。				
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	描画用地物の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	floor_id	text	描画用地物が紐づけられている階層の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	source	text	原典	1:フロアマップ 2:CAD データ 3:BIM データ 4:3 次元地図データ 9:その他	

8. 1. 9. 視覚障害者誘導用ブロック等 (点)

項目分類	
大分類	地物用図形データ
小分類	視覚障害者誘導用ブロック等(点)
データ名称	視覚障害者誘導用ブロック等点データ
ファイル名	TWSI_Point.shp
シェープタイプ	Point
定義	視覚障害者誘導用ブロック等のうち、点状ブロック等(点状突起を配列したブロック等で、注意喚起の目的で用いるもの)の範囲を点の形式で示すもの。
取得基準	・ 点状ブロック等の代表点を点で取得する。 ・ 点状ブロック等が隣接(隣接とは、ブロックとブロックの間が 30cm 未満を指す)して複数枚敷設されて一塊となっている場合は、その塊の概ね中心に点を取得する。 ・ ただし、一塊の点状ブロックであっても、異なる歩行方向の起終点を意味する場合には、それぞれの歩行方向に対応する地点を点として取得する。 ・ 障害物を囲んで点状ブロック等が敷設されている場合、この点状ブロック等を任意の区画に分割し各区画の

	代表点を取得する。 ・ 三方が点状ブロック等で囲まれている線状ブロック等で、歩行方向に対して 60cm 未満の長さしかない場合には、線状ブロック等を点状ブロック等として扱う。長さ 60cm 未満の場合、視覚障害者にとっては歩行経路として認識されない可能性があるためである。				
主な原典資料	フロアマップ、設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、3 次元地図データ等				
補足事項等	点状ブロックと同等の機能を果たす床面等に直接設置された鋳(突起物)のある領域や、シート状、タイル状の物も対象とする。				
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	視覚障害者誘導用ブロック等(点)の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	floor_id	text	視覚障害者誘導用ブロック等(点)が紐付けられている階層の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	category	text	設置位置	1:交差点前 2:エレベーター前 3:エスカレーター前 4:階段前 5:スロープ出入口 6:改札前 7:鉄道等の乗降車位置 99:その他	
	name	text	名称		
	lat	text	座標(緯度)	35.7110277	10 進法
	lon	text	座標(経度)	139.7097861	10 進法
	source	text	原典	1:フロアマップ 2:CAD データ 3:BIM データ 4:3 次元地図データ 9:その他	

8. 1. 10. 視覚障害者誘導用ブロック等(線)

項目分類	
大分類	地物用図形データ
小分類	視覚障害者誘導ブロック等(線)
データ名称	視覚障害者誘導ブロック等線データ
ファイル名	TWSI_Line.shp
シェープタイプ	PolyLine

定義	視覚障害者誘導用ブロック等のうち、線状ブロック等（線状突起を配列したブロック等で、歩行方向を指示する目的で用いるもの）、プラットホーム縁端警告用内方表示ブロック（鉄軌道駅のプラットホームの縁端に近づいていることの注意喚起及びプラットホームの内方を表示する機能を持つブロックで、点状ブロックとプラットホームの内側を示す線状突起（内方線）とを組合せて配列したもの）、エスコートゾーン（道路を横断する視覚障害者の安全性及び利便性を向上させるために横断歩道上に設置され、視覚障害者が横断時に横断方向の手がかりとする突起体の列）の範囲を線の形式で示すもの。				
取得基準	1. 線状ブロック等 ・ 歩行方向に沿って列状に敷設された線状ブロック等の中心線を取得する。 ・ 線状ブロックが歩行方向に対して垂直に 2 枚以上並列している時は、その中心線を取得する。 ・ 線状ブロック等の歩行方向の起終点に点状ブロック等が隣接している場合は、点状ブロック等の点に線状ブロック等の線の端点を接続させる。なお、隣接とは、線状ブロック等と点状ブロック等の間隔が 30cm 未満を指す。 ・ 三方が点状ブロック等で囲まれている線状ブロック等で、歩行方向に対して 60cm 未満の長さしかない場合は、線を取得しない。長さ 60cm 未満の場合、視覚障害者にとっては歩行経路として認識されない可能性があるためである。 2. プラットホーム縁端警告用内方表示ブロック ・ 内方線の中心線を取得する。 ・ 内方線が付いていない場合、プラットホーム端に沿って列状に敷設されている点状ブロック等のホーム内側の縁を線で取得する。 3. エスコートゾーン ・ エスコートゾーンの横断方向の中心線を取得する。				
主な原典資料	フロアマップ、設備・施設管理図（CAD、BIM データ等）、3 次元地図データ等				
補足事項等	線状ブロックについては、線状突起の長手方向が、歩行方向を示す。 プラットホーム縁端警告用内方表示ブロックの略称は、ホーム縁端警告ブロック又は内方線付きブロックである。				
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	視覚障害者誘導用ブロック等（線）の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	startnode	text	視覚障害者誘導用ブロック等（点）の固有 ID	UUID、場所情報コード等	接続する視覚障害者誘導用ブロック等（点）がある場合入力
	endnode	text	視覚障害者誘導用ブロック等（点）の固有 ID	UUID、場所情報コード等	接続する視覚障害者誘導用ブロック等（点）がある場合入力
	category	text	視覚障害者誘導用ブロック等（線）の種類	1: 線状ブロック等 2: プラットホーム縁端警告用内方表示ブロック 3: エスコートゾーン	

	roof	text	屋根の有無	1:なし 2:あり 9:不明(未調査)	
	floor_id	text	視覚障害者誘導用ブロック等(線)が紐づけられている階層の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	source	text	原典	1:フロアマップ 2:CAD データ 3:BIM データ 4:3 次元地図データ 9:その他	

8.2. ネットワークデータ

ネットワークデータの仕様については、原則として、国土交通省政策統括官付が策定した「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案」(2018 年 3 月)を準用する。本仕様書(案)では、「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案」(2018 年 3 月)で必須情報項目とされている第 1 層の情報項目を記載している。

本仕様書(案)に基づいて作成するネットワークデータは、階層データの範囲内に作成される。また、物理的な空間のうち、階段の範囲、エレベーターの範囲、エスカレーターの範囲、動く歩道の範囲、スロープの範囲、通路/コンコース、ペDESTリアンデッキ、歩道橋及び屋外を対象に作成することを推奨する。

8.2.1. ノード

項目分類	
大分類	ネットワークデータ
小分類	ノード
データ名称	ノードデータ
ファイル名	node.shp
シェープタイプ	Point
定義	リンクの端点及び結節点
取得基準	・ ノードの取得位置については、「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案」(2018 年 3 月)に準じる。 ・ 出入口の線分上には、ノードを取得しなければならない。 ・ ノードには1つ以上のリンクが接続していなければならない。
主な原典資料	
補足事項等	各施設管理者が敷設した視覚障害者誘導用ブロックは、施設内における視覚障害者のための歩行経路を示すものであり、ネットワークデータの形状取得にあたっては、この形状を参考にする。なお、視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていない空間においては、その他空間で敷設されている視覚障害者誘導用ブロック等の形状を参考にして、データ整備者において取得位置を決定する。ただし、鉄道軌道駅のプラットホーム上に敷設されているプラットホーム縁端警告用内方表示ブロックについては、歩行経路を示しているものではないため、ノードの配置は推奨しない。

1 つのノードに複数の接続リンクがある場合は、接続リンクを「接続リンク ID1」「接続リンク ID2」「接続リンク ID3」・・・として適宜追加する。追加する場合のフィールド名は、「link1_id」「link2_id」・・・「link99_id」等とする。 本来の「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案」(2018 年 3 月)における階層数の Field 名は、「floor」であるが、本仕様書(案)での階層数は小数点 1 位までとしていることから、階層データの属性である階層数と同様の Field 名「ordinal」としている。					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	node_id	text	ノード ID	UUID、場所情報コード等	
	lat	double	緯度	35.6755310	中心位置の緯度 10 進法表記とする
	lon	double	経度	139.7512700	中心位置の経度 10 進法表記とする
	ordinal	float	階層数	-2.0、-1.0、0.0、1.0、2.0・・・	数値(小数第 1 位まで)
	in_out	text	施設内外区分	1:施設外 2:施設内外の境界 3:施設内	本仕様(案)に基づいて作成されるノードでは、「2:施設内外の境界」又は「3:施設内」のいずれかを選択する。
	link1_id	text	接続リンク ID	UUID、場所情報コード等	接続するリンク ID を記入

8.2.2. リンク

項目分類	
大分類	ネットワークデータ
小分類	リンク
データ名称	リンクデータ
ファイル名	link.shp
シェープタイプ	PolyLine
定義	ノードとノードを結ぶ線分で、歩行経路の位置、形状を示す。
取得基準	・リンクの位置、形状については、原則として「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案」(2018 年 3 月)に準じて取得する。 ・原則としてリンクは交差してはならない。ただし、同一階層空間内の歩行経路であっても実際に交差しない立体交差などでは交差することができる。例えば、上階へ接続する階段の下に通路があるような空間の場合、階段上のリンクと階段の下の通路のリンクとは実際には交差してないため、ノードは取得しない。 ・リンクの端点(起点、終点)はノードに接続させなければならない。
主な原典資料	
補足事項等	人の往来の激しい屋内空間では、「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案」の広場の取得基準に示されたリンク位置でリンクを取得することは好ましくない場合がある。その場合は、各施設管理者が施設内における視覚障害者のための歩行経路を示すために敷設した視覚障害者誘導用ブロックの位置を参考にリンクを取得する。 なお、視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていない空間においては、その他空間で敷設されている視覚障害

者誘導用ブロック等の形状を参考にして、データ整備者において形状を取得する。ただし、鉄道軌道駅のプラットフォーム上に敷設されているプラットフォーム縁端警告用内方表示ブロックについては、歩行経路を示しているものではないため、これを参考にリンクの形状を取得することは推奨しない。					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	link_id	text	リンク ID	UUID、場所情報コード等	
	start_id	text	起点ノード ID	UUID、場所情報コード等	
	end_id	text	終点ノード ID	UUID、場所情報コード等	
	distance	float	リンク延長		リンクの延長を小数第 1 位で記入(単位は m)(経路の種類がエレベーターの場合には記入不要)
	rt_struct	text	経路の構造	1: 車道と歩道の物理的な分離あり 2: 車道と歩道の物理的な分離なし 3: 横断歩道 4: 横断歩道の路面標示の無い道路の横断部 5: 地下通路 6: 歩道橋 7: 施設内通路 8: その他の経路の構造 99: 不明	本仕様書(案)に基づいて作成する歩行経路ネットワークでは、屋外か屋内かに関係なく経路の構造は原則として「7: 施設内通路」とする。
	route_type	text	経路の種別	1: 対応する属性情報なし 2: 動く歩道 3: 踏切 4: エレベーター 5: エスカレーター 6: 階段 7: スロープ 99: 不明	
	direction	text	方向性	1: 両方向 2: 起点より終点方向 3: 終点より起点方向 99: 不明	動く歩道又はエスカレーターの進行方向
	width	text	幅員	1: 1.0m 未満 2: 1.0m 以上～2.0m 未満	リンク内の最小の幅員

			3:2.0m 以上～3.0m 未満 4:3.0m 以上 99: 不明	
vtcl_slope	text	縦断勾配	1:5%以下 2:5%より大きい(起点より終点が高い) 3:5%より大きい(起点より終点が高い) 99: 不明	リンク内の最大の縦断勾配
lev_diff	text	段差	1:2 cm以下 2:2 cmより大きい 99: 不明	
tfc_signal	text	歩行者用信号機の有無	1:歩行者用信号機なし 2:歩車分離式信号機あり 3:押しボタン式信号機あり 4:これら以外の信号機 99: 不明	
tfc_s_type	text	歩行者用信号機の種別	1:音響設備なし 2:音響設備あり(音響用押しボタンなし) 3:音響設備あり(音響用押しボタンあり) 99 不明	
brail_tile	text	視覚障害者誘導用ブロック等の有無	1:視覚障害者誘導用ブロック等なし 2:視覚障害者誘導用ブロック等あり 99: 不明	視覚障害者誘導用ブロック等の地物データの中心線をリンクとして取得する場合は、「2」を選択
elevator	text	エレベーターの種別	1:エレベーターなし 2:エレベーターあり(バリアフリー対応なし) 3:エレベーターあり(車いす使用者対応) 4:エレベーターあり(視覚障害者対応) 5:エレベーターあり(車いす使用者、視覚障害者対応) 99: 不明	

	roof	text	屋根の有無	1:なし 2:あり 99:不明	「ピロティ、ポーチ、吹きさらしの廊下(壁の無い建物間の連絡通路)、バルコニー・ベランダ等であっても、頭上に天井、屋根、庇等がある場合には、「2:あり」を選択」
--	------	------	-------	-----------------------	---

8.3. POI データ

8.3.1. 設備 POI

項目分類					
大分類		POI データ			
小分類		設備 POI			
データ名称		設備 POI データ			
ファイル名		Facility.shp			
シェープタイプ		Point			
定義		トイレ、ATM、インフォメーション、ランドマーク、ポスト、公衆電話、Wi-Fi、タクシー乗り場、喫煙所、搭乗ゲート等、人が移動をする時の目印となる設備の代表点を示す。			
取得基準		原典資料に基づき、設備の概ね中心か、代表的な1点を取得する。			
主な原典資料		フロアマップ、設備・施設管理図（CAD、BIM データ等）、3 次元地図データ等			
補足事項等		一般的に設備 POI には、住所がなく、占有者 POI は、その空間を占有する人や法人が存在するため、住所を持つ。			
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	設備 POI の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	category	text	該当する設備 POI のカテゴリのコード	別表 8.3.1.設備 POI のカテゴリ参照	
	floor_id	text	設備 POI が紐付けられている階層の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	name	text	設備 POI の名称		
	source	text	原典	1:フロアマップ 2:CAD データ 3:BIM データ 4:3 次元地図データ 9:その他	

8.3.2. 占有者 POI

項目分類

大分類	POI データ				
小分類	占有者 POI				
データ名称	占有者 POI データ				
ファイル名	Occupant.shp				
シェープタイプ	Point				
定義	物理的な空間を占有している店舗や事務所等の情報を示す代表点				
取得基準	物理的な空間の概ね中心か、代表的な1点を点データで取得する。				
主な原典資料	フロアマップ、設備・施設管理図(CAD、BIM データ等)、3 次元地図データ等				
補足事項等					
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	占有者 POI の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	postalcode	text	郵便番号	151-0053	
	country	text	国	日本	
	province	text	都道府県	東京都	
	city	text	市区町村	渋谷区	
	address1	text	住所 1	代々木〇丁目	
	address2	text	住所 2	〇号〇番	
	address3	text	住所 3	新宿〇〇タワー	
	category	text	該当する占有者 POI のカテゴリーのコード	別表 8.3.2.占有者 POI のカテゴリー参照	
	floor_id	text	占有者 POI が紐付けられている階層の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	link_id	text	別の階層にある同じ占有者 POI の固有 ID	UUID、場所情報コード等	同じ建物内で複数階層を同じ事務所や店舗が占有している場合に利用、複数ある場合には、カンマ区切りで記載
	hours1	text	店舗や事務所等の営業時間（平日）	09:00-18:00、19:00-22:00	平日でも曜日により営業時間が異なる場合は、各曜日の営業時間を記載
	hours2	text	店舗や事務所等の営業時間（土日祝祭日）	土・日 09:00-18:00、祝祭日 09:30-17:00	土曜日、日曜日、祝祭日で時間が異なる場合は、それぞれ営業時間を記載
	name	text	店舗や事務所等の名称	〇〇〇株式会社	
	phone	text	店舗や事務所等の電話番号	03-0000-0000	
suite	text	店舗や事務所等の地図表示用注記ラベル	〇〇〇		

	taxonomy	text	対応する「階層別屋内地理空間情報データ仕様書(案)」のバージョン	平成 29 年 3 月改訂版(暫定)	発行日を記載。
	website	text	店舗や事務所等のウェブサイトアドレス(URL)	https://.....	
	source	text	原典	1:フロアマップ 2:CAD データ 3:BIM データ 4:3 次元地図データ 9:その他	

8. 4. アンカーポイントデータ

8. 4. 1. 建物間接続点

項目分類					
大分類		アンカーポイントデータ			
小分類		建物間接続点			
データ名称		建物間接続点データ			
ファイル名		Build_Connect.shp			
シェープタイプ		Point			
定義		空間の接続関係を示すデータ。 異なる 2 つ以上の建物が隣接し、通路/コンコース等で空間的に接続している場合、その建物の境界線上（建物の管理境界線上）に、他の建物への移動が可能な事を示すための点データ。			
取得基準		2 つ以上の隣接する建物があり、各建物が物理的な空間の階段、スロープ、通路/コンコース等、人の通行が可能な空間で接続している場合に、その境界線（管理境界線）上に取得された出入口の線分の概ね中心地点に取得する。			
主な原典資料					
補足事項等		・ 接続する建物に存在する建物間接続点がデータとして未整備の場合、anch_id_1、anch_id_2、anch_id_3・・・は空欄とする。 ・ bldg_name、anch_id は、必要に応じて追加することが可能。追加する場合には、Field 名の末尾の数字を 4、5、6・・・と上げて行く。 ・ bldg_name、anch_id を記述する順番は任意。			
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	建物間接続点データの固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	floor_id	text	データが位置する階層の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	node_id	text	参照するノードの固有 ID	UUID、場所情報コード等	

	bldg_name1	text	1 つ目の接続する建物躯体の名称		
	anch_id_1	text	1 つ目の接続する建物間接続点の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	bldg_name2	text	2 つ目の接続する建物躯体の名称		
	anch_id_2	text	2 つ目の接続する建物間接続点の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	bldg_name3	text	3 つ目の接続する建物躯体の名称		
	anch_id_3	text	3 つ目の接続する建物間接続点の固有 ID	UUID、場所情報コード等	

8.4.2. 階層間接続点

項目分類					
大分類		アンカーポイントデータ			
小分類		階層間接続点			
データ名称		階層間接続点データ			
ファイル名		Floor_Connect.shp			
シェープタイプ		Point			
定義		空間と階層の接続関係を示すデータ。 同一建物内で、階段、エスカレーター、エレベーター、スロープ等の階層間の接続部で、相互の階層との移動が可能な事示す点。ネットワークデータのノードとセットで整備する。			
取得基準		・ 物理的な空間「階段の範囲」における出入口のライン上の概ね中心に取得する。 ・ 物理的な空間「エスカレーターの範囲」における出入口のライン上の概ね中心に取得する。 ・ 物理的な空間「エレベーターの範囲」における出入口のライン上の概ね中心に取得する。 ・ 物理的な空間「スロープの範囲」における出入口のライン上の概ね中心に取得する。 ・ 階層名又は階層数は異なるが、物理的に同一な階層の境界部を示すライン上の概ね中心に取得する。			
主な原典資料					
補足事項等		・ 一般的には、上階と下階の階層数は、連続する数値であるが、連続しない場合もある。 ・ anch_id と direction は、必要に応じて追加することが可能。追加する場合には、Field 名の末尾の数字を 3、4、5・・・と上げていく。 ・ 進行方向は、1: 上ってゆく、2: 下ってゆく、3: 上ってくる、4: 下ってくる、5: 同一平面、99: 不明をコード値(1～5、99)で入力するが、1→2→3→4→5→99 の優先順とする。 ・ 同一階層内における、階段、エスカレーター、エレベーター、スロープ等でも設定可能とする。			
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考
	id	text	階層間接続点の固有 ID	UUID、場所情報コード等	

	floor_id	text	自身が位置する階層の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	node_id	text	参照するノードの固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	anch_id_1	text	1 つ目の接続する階層間接続点の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	direction1	text	自身を始点とした時の、1 つ目の接続する階層間接続点への進行方向	1: 上ってゆく 2: 下ってゆく 3: 上ってくる 4: 下ってくる 5: 同一平面 99: 不明	
	anch_id_2	text	2 つ目の接続する階層間接続点の固有 ID	UUID、場所情報コード等	
	direction2	text	自身を始点とした時の、2 つ目の接続する階層間接続点への進行方向	1: 上ってゆく 2: 下ってゆく 3: 上ってくる 4: 下ってくる 5: 同一平面 99: 不明	

8.5. パブリックタグ

項目分類					
大分類		パブリックタグデータ			
小分類		パブリックタグ			
データ名称		パブリックタグデータ			
ファイル名		Publictag.shp			
シェープタイプ		Point			
定義		パブリックタグとして登録されたタグの位置情報を点データとして取得したもの。			
取得基準		パブリックタグの公開情報として公開された緯度、経度により取得する。			
主な原典資料		パブリックタグ情報共有プラットフォーム(以下 URL)よりダウンロードしたテキストファイル等。 https://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/field_test/index.html			
補足事項等		パブリックタグの仕様等詳細については、以下の URL を参照。 https://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/field_test/index.html https://ucopendb.gsi.go.jp/ucode/document/1_shiryo.pdf 場所情報コードの緯度、経度の値と、パブリックタグの公開情報として公開された緯度、経度の値は一致しない場合がある。			
属性情報					
区分	Field 名	型	説明	属性値の例	備考

	id	text	データ ID	UUID、場所情報コード等	
	ucode	text	場所情報コード	場所情報コード	申請によりに発行された場所 情報コード(128bit)

9. その他のデータ

シェープファイル以外のデータの仕様は以下のとおりである。

9.1. メタデータファイル

メタデータは、ファイル名を「meta」とし、以下の内容を記述する。プロジェクト単位で作成する。ファイル形式は、XML 形式とする。なお、XML の定義ファイル（拡張子. xsd）の作成は必須としない。

<xsd:element ref="abstract"/>	<!-- データ要約 -->
<xsd:element ref="author"/>	<!-- データ管理者 -->
<xsd:element ref="description"/>	<!-- 自由記述要素 -->
<xsd:element ref="project"/>	<!-- プロジェクト -->
<xsd:element ref="facility"/>	<!-- 施設 -->
<xsd:element ref="createdate"/>	<!-- データ作成年月日 -->
<xsd:element ref="source"/>	<!-- 原典資料情報 -->
<xsd:element ref="name"/>	<!-- 原典資料名 -->
<xsd:element ref="author"/>	<!-- 原典資料作成者 -->
<xsd:element ref="createdate"/>	<!-- 原典資料作成年月日 -->
<xsd:element ref="dataformat"/>	<!-- 原典資料データ形式 -->
<xsd:element ref="scale"/>	<!-- 原典資料精度 -->
<xsd:element ref="editmethod"/>	<!-- 加工編集方法 -->
<xsd:element ref="survey"/>	<!-- 現地調査 -->

サンプルを以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<attribute>
  <abstract>階層別屋内地理空間情報データ仕様書(案)に基づいて試作された階層別地図データ</abstract>
  <author>〇〇株式会社</author>
  <project>3 次元地図の整備・更新に関する調査(東京駅)</project>
  <facility>東京駅</facility>
  <createdate>2016/3/18</createdate>
  <source>
    <name>東京駅構内図</name>
    <author>〇〇株式会社</author>
    <createdate>2015/12/1</createdate>
    <dataformat>PDF</dataformat>
    <scale>A3 判 1/500 表示</scale>
  </source>
  <editmethod>〇〇社製△△GIS バージョン 10.x により作成</editmethod>
  <survey>無</survey>
</attribute>
```

9.2. 施設管理ファイル

プロジェクト内に含まれる各施設の施設名、シェープファイルのファイル名に記述された施設名、施設を代表する地点の高さ、代表点の緯度、代表点の経度を記述する。ファイル名は、「SiteMaster」とする。プロジェクト単位で作成する。ファイル形式は、CSV 形式とする。ヘッダには、以下の項目を記述する。

No.	項目	説明
1	施設 ID	プロジェクト内で施設ごとに付される固有 ID(施設データの Field 名「id」に記述された施設の固有 ID)。
2	施設名	プロジェクト内で施設ごとに付される一意の施設名称。 施設管理者の命名に従う。
3	ファイルの施設名	シェープファイルのファイル名「施設名_データ名称」の「施設名」に該当する文字列。
4	代表点高	各施設の任意の代表点の地盤高(単位:m)。 原典資料に情報がある場合はその値を用いる。 原典資料に情報が無い場合は、測量により求める。あるいは、地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp/)等から施設の代表点(施設の概ね重心)の標高値を読み取る。
5	代表点緯度	代表点高を求めた地点の緯度。度単位 10 進数で記述する。
6	代表点経度	代表点高を求めた地点の経度。度単位 10 進数で記述する。

9.3. フロア管理ファイル

施設内に含まれる各フロアの階層名、階層数、高さを記述する。ファイル名は、「FloorMaster」とする。プロジェクト単位で作成する。ファイル形式は、CSV 形式とする。ヘッダには、以下の項目を記述する。

No.	項目	説明
1	階層 ID	プロジェクト内で各施設の各フロアに付される固有 ID(階層のシェープファイルの Field 名「id」に記述された階層の固有 ID)。
2	階層名	各施設の階層の名称(例 1 階、中二階、2 階、地下一階、地下 2 階、グランドレベル、等)。 施設管理者の設定に従う。
3	ファイルの階層名	シェープファイルのファイル「施設名_階層名_データ名称」の「階層名」に該当する文字列。
4	階高	各フロアのフロアレベル(単位:m)。 原典資料に情報がある場合はその値を用いる。 原典資料に情報が無い場合は、測量等による現地での確認により求める。また、現地での確認ができない場合には、事務所、百貨店の一般的な階高を記述する。

9.4. 位置参照点

原典資料からシェープファイルを作成するにあたり位置の標定に用いた国土地理院の「基盤地図情報」の参照点の座標値(Y 座標、X 座標)と、標定後の座標値(Y 座標、X 座標)を記述する。ファイル名は、「ReferencePoint」とする。プロジェクト単位で作成する。ファイル形式は、CSV 形式とする。

No.	項目	説明
1	施設 ID	プロジェクト内で各施設の各フロアに付される固有 ID(施設データの Field 名「id」に記述された階層の固有 ID)。
2	地点 ID	プロジェクト内で各施設の各フロアに付される固有 ID(階層のシェープファイルの Field 名「id」に記述された階層の固有 ID)。
3	系番号	Y 座標 1、X 座標 1、Y 座標 2、X 座標 2 の系番号
4	Y 座標 1	位置の標定に用いた基盤地図情報における座標値(平面直角座標系)の Y 座標
5	X 座標 1	位置の標定に用いた基盤地図情報における座標値(平面直角座標系)の X 座標
6	Y 座標 2	標定後の座標値(平面直角座標系)の Y 座標
7	X 座標 2	標定後の座標値(平面直角座標系)の X 座標

9.5. 言語依存データ

言語依存データには、日本語とそれに対応する他言語を記述する。ファイル名を「MultiLanguage」とし、プロジェクト単位で作成する。ファイル形式は CSV 形式とする。

対象とする言語は、日本語 (jp)、英語 (en)、韓国語 (ko)、中国語 (簡体字) (zh-ch)、中国語 (繁体字) (zh-tw)、フランス語 (fr)、スペイン語 (es) とし、ヘッダに記述する。なお、翻訳不能なものについては記載しない。サンプルを以下に示す。

```
jp, en, ko, zh-ch, zh-tw, fr, es
共用会議室, 공용회의실, 共享会议室, 共享會議室, salle de réunion commune, sala de reuniones compartida
厚生課物品倉庫, . . . . .
端末機室, terminal room, 단말기 실, 终端室, 終端室, salle des terminaux, sala de terminal
SE 室, SE room, SE 실, SE 房, SE 房, chambre SE, sala de SE
電子計算機室, computer room, 전자 계산기 실, tietokone huoneessa, 電腦室, salle informatique, sala de ordenadores
女子更衣室, . . . . .
湯沸室, . . . . .
空調機械室, . . . . .
組合事務室, . . . . .
情報システム課, information system division, 정보 시스템과, 信息系統課, 信息系統課, division système
d'information, División de Sistemas de Información
喫煙室, smoking room, 흡연실, 吸烟室, 吸煙室, espace fumeurs, salón de fumar
会計課, accounts division, 회계과, 账户課, 賬戶課, division contabilidad, División de cuentas
```

以上

【別表】地物データ、POI データのカテゴリー一覧

別表 8.1.1.施設の 카테고리

コード	日本語名称	英語名称	備考
A001	駅	Transit Station	
A002	空港	Airport	
A003	競技場・公園・運動施設	Stadium, Park, Exercise Facility	
A004	地下道・地下街	Underpass, Underground Shopping Area	
A005	コンベンションセンター	Convention Center	
A006	官公署	Government Facility	
A007	医療施設	Medical Facility	
A008	保健・福祉施設	Health and Welfare Facility	
A009	コミュニティセンター	Community Center	
A010	ホテル	Hotel	
A011	駐車場	Parking Facility	
A012	大学	University	
A013	劇場	Theater	
A014	水族館	Aquarium	
A015	美術館	Museum	
A016	その他の教育文化施設	Other Educational and Cultural Facility	
A017	商業施設	Retail Store	
A018	ショッピングセンター	Shopping Center	
A019	行楽地	Resort	
A020	テーマパーク	Theme Park	
A021	カジノ	Casino	
A022	その他の観光施設	Other Tourist Facility	
A023	企業私有地	Business Campus	
A024	公共トイレ(単体)	Public Toilet (standalone)	
A999	不明・その他	Unknown, Other Facility	

別表 8.1.4.物理的な空間のカテゴリ

コード	日本語名称	英語名称	定義
B001	商業施設	Retail Store	商業施設として利用されている空間(部屋)の範囲
B002	事務所	Office	事務室として利用されている空間(部屋)の範囲
B003	公的施設	Public Facility	公的施設として利用されている空間(部屋)の範囲
B004	待合室・休憩所	Waiting Room	待合所・休憩所として利用されている空間(部屋)の範囲
B005	きっぷ売り場	Tickets	きっぷ売り場として利用されている空間(部屋)の範囲
B006	受付・案内	Information	受付・案内所として利用されている空間(部屋)の範囲

B007	トイレ(男性用)	Lavatory (Male)	トイレ(男性用)として利用されている空間(部屋)の範囲
B008	トイレ(女性用)	Lavatory (Female)	トイレ(女性用)として利用されている空間(部屋)の範囲
B009	トイレ(男女共用)	Lavatory (Unisex)	トイレ(男女共用)として利用されている空間(部屋)の範囲
B010	トイレ(男女不明)	Lavatory (Unspecified)	トイレ(男女不明)として利用されている空間(部屋)の範囲
B011	多機能トイレ(オストメイト対応、おむつ交換シートなし)	Multipurpose Lavatory	多機能トイレ(オストメイトに対応しておらず、おむつ交換シートもないもの)として利用されている空間(部屋)の範囲
B012	多機能トイレ(オストメイト対応あり)	Multipurpose Lavatory (Ostomate)	多機能トイレ(オストメイトに対応しているもの)として利用されている空間(部屋)の範囲
B013	多機能トイレ(おむつ交換シートあり)	Multipurpose Lavatory (Change Diaper)	多機能トイレ(おむつ交換シートがあるもの)として利用されている空間(部屋)の範囲
B014	多機能トイレ(オストメイト対応、おむつ交換シートあり)	Multipurpose Lavatory (Ostomate, Change Diaper)	多機能トイレ(オストメイトに対応しており、かつ、おむつ交換シートがあるもの)として利用されている空間(部屋)の範囲
B015	喫煙場所	Smoking Area	喫煙場所として利用されている空間(部屋)の範囲
B016	授乳室	Baby-feeding Room, Nursing Room	授乳室として利用されている空間(部屋)の範囲
B017	病院・救護室	First Aid	病院・救護室等医療関係の施設として利用されている空間(部屋)の範囲
B018	駅事務室	Station Office	駅事務室として利用されている空間(部屋)の範囲
B019	その他部屋の範囲	Other Room	上記部屋として分類不能な空間(部屋)の範囲
B020	吹抜の範囲	Open to Below	人の通行が不能な吹き抜けがある空間の範囲
B021	階段の範囲	Stairs	踊り場を含む階段がある空間の範囲
B022	エレベーターの範囲	Elevator	エレベーターがある空間の範囲(概ねエレベータシャフト(開口部)と同様の範囲)
B023	エスカレーターの範囲	Escalator	踊り場を含むエスカレーターがある空間の範囲(ランディングプレートを含む)
B024	動く歩道の範囲	Moving Walkway	動く歩道がある空間の範囲(ランディングプレートを含む)
B025	スロープの範囲	Slope	スロープがある空間の範囲
B026	非公開の範囲	Non-Public	施設管理者により非公開と指定された空間(部屋)の範囲
B027	駐車場	Parking	駐車場として利用されている空間(部屋)の範囲
B028	プラットフォーム	Platform	プラットフォームの範囲
B029	通路/コンコース	Walkway	通路/コンコースとして利用されている空間(部屋)の範囲
B030	ペDESTリアンデッキ	Pedestriandeck	ペDESTリアンデッキ(建物と接続して建設された歩行者の通行専用の高架建築物)の範囲
B031	歩道橋	Pedestrian Overpass	歩道橋の範囲
B999	屋外	Outside	建物の外の地表面(グランドレベル)の範囲

別表 8.1.5.固定設置物のカテゴリー

コード	日本語名称	英語名称	定義及び取得基準
C001	柱	Column	物理的な空間のうち、吹抜けの範囲、階段の範囲、スロープの範囲、駐車場、プラットホーム、通路/コンコース、ペDESTリアンデッキ、歩道橋及び屋外に、独立して存在している柱の範囲の形状(柱の周囲が壁等で囲まれている場合は、その壁等を含む範囲の形状)
C002	ベンチ	Bench	ベンチの形状
C003	受付・インフォメーションデスク	Reception and Information Desks	受付デスク、登録カウンター、及びその他一般的なカウンターの形状
C004	机・記帳台	Cubicle	机や記帳台等の形状
C005	ゴミ箱	Rubbish Bin	ゴミ箱の形状
C006	その他家具・什器	Other furniture / fixtures	家具・什器のうち、ベンチ、受付・インフォメーションデスク、机・記帳台、ゴミ箱を除く家具・什器の形状
C007	小形簡易売店	Kiosk	小型の売店の形状
C008	障害物	Obstruction	人の通行の障害となるインテリア、装飾、オブジェ等の形状
C009	植栽・花壇	Vegetation	植栽や花壇等の形状
C010	パーテーション・間仕切り壁	Wall	パーテーション等の間仕切り壁の形状
C011	水部等	Water	人の通行の障害となる噴水や水面等の形状
C012	ロッカー	Locker Cabinet	コインロッカーの形状
C013	自動販売機	Vending Machine	自動販売機の形状
C014	ATM	ATM	ATM の形状
C015	ステージ	Stage Platform	人の通行の障害となるステージの形状
C016	柵	Fence	柵の形状
C017	視覚障害者誘導用ブロック等(点状ブロック等)	Tactile Walking Surface Indicators (hazard)	視覚障害者誘導用ブロック等のうち、点状ブロック等(点状突起を配列したブロック等で、注意喚起の目的で用いるもの)が敷設されている範囲の形状
C018	視覚障害者誘導用ブロック等(線状ブロック等)	Tactile Walking Surface Indicators (guiding pattern)	視覚障害者誘導用ブロック等のうち、線状ブロック等(線状突起を配列したブロック等で、歩行方向を指示する目的で用いるもの)が敷設されている範囲の形状
C019	エスコートゾーン	Guiding Tactiles on Crossing	道路を横断する視覚障害者の安全性及び利便性を向上させるために横断歩道上に設置され、視覚障害者が横断時に横断方向の手がかりとする突起体の列の範囲の形状
C999	その他	Uncategorized	“物理的な空間”の中に存在していて、上記に分類不能なものの形状を面として設定したもの

C101	ホームドア・可動式ホーム柵等	Platform Screen Doors, Platform Gates	プラットホーム上に設置されたホームドア又は可動式ホーム柵等の形状
C102	自動券売機	Ticket Vending Machine	特急券やグリーン券等の自動券売機の形状
C103	プラットホーム縁端警告用内方表示ブロック	Tactile Walking Surface Indicators On Railway Platform	駅のプラットホームの縁端に近づいていることの注意喚起及びプラットホームの内方を表示する機能を持つブロックで、点状ブロックとプラットホームの内側を示す線状突起（内方線）とを組合せて配列したものが敷設されている範囲の形状 ただし、プラットホームの縁端に列状に敷設されており、注意喚起機能をもつ点状ブロック等もこれに含める
C104	自動改札機	Automatic Ticket Gate	自動改札機の形状
C201	ターンテーブル	Baggage Carousel	ターンテーブルの形状
C202	自動チェックイン機	Passenger Ticketing/Automated Check-In KIOSK	旅券発券/自動チェックイン機の形状

別表 8.3.1.設備 POI のカテゴリ

No.	日本語名称	英語名称	定義
F001	トイレ(男性)	Lavatory(Male)	男性用トイレとして利用されている空間(部屋)の代表点
F002	トイレ(女性)	Lavatory(Female)	女性用トイレとして利用されている空間(部屋)の代表点
F003	トイレ(男女共用)	Lavatory (Unisex)	男女共用トイレとして利用されている空間(部屋)の代表点
F004	トイレ(男女不明)	Lavatory (Unspecified)	(男性用/女性用が不明な)トイレとして利用されている空間(部屋)の代表点
F005	多機能トイレ(オストメイト対応、おむつ交換シートなし)	Multipurpose Lavatory	多機能トイレ(オストメイトに対応しておらず、おむつ交換シートもないもの)として利用されている空間(部屋)の代表点
F006	多機能トイレ(オストメイト対応あり)	Multipurpose Lavatory (Ostomate)	多機能トイレ(オストメイトに対応しているもの)として利用されている空間(部屋)の範囲の代表点
F007	多機能トイレ(おむつ交換シートあり)	Multipurpose Lavatory (Change Diaper)	多機能トイレ(おむつ交換シートがあるもの)として利用されている空間(部屋)の範囲の代表点
F008	多機能トイレ(オストメイト対応、おむつ交換シートあり)	Multipurpose Lavatory (Ostomate, Change Diaper)	多機能トイレ(オストメイトに対応しており、かつ、おむつ交換シートがあるもの)として利用されている空間(部屋)の範囲の代表点
F009	浴室	Bathroom	浴室として利用されている空間(部屋)の代表点
F010	更衣室	Changing Room	更衣室として利用されている空間(部屋)の代表点
F011	階段	Stairs	建築基準法施行令でいう階段室又は階段の範囲の代表点
F012	エレベーター	Elevator	エレベーターの範囲の代表点

F013	エスカレーター	Escalator	エスカレーターの範囲の代表点
F014	スロープ	Slope	スロープの範囲の代表点
F015	動く歩道	Moving Walkway	動く歩道の範囲の代表点
F016	施設代表点	Site	施設の代表点
F017	施設出入口	Entrance	施設・建物の出入口の代表点
F018	受付・案内所	Information	施設案内所、インフォメーションセンター等、有人の案内所の代表点
F019	交番	Policebox	交番の代表点
F020	待合室	Waiting Room	待合室の代表点
F021	授乳室	Nursing Room	授乳室の代表点
F022	医療施設	Medical	医療施設の代表点
F023	見学・展望施設	Observation	見学・展望施設の代表点
F024	喫煙エリア	Smoking Area	喫煙エリア、喫煙室の代表点
F025	店舗	Store	飲食店、衣料品店、靴店、サービス業等の各種店舗の代表点
F026	飲食コーナー	Eating/Drinking	飲食が可能なコーナーの代表点
F027	AED	AED	AED(自動体外式除細動器)の位置
F028	公衆電話	Pay Phone	公衆電話の位置
F029	郵便ポスト	Post	郵便ポストの位置
F030	ATM	ATM	クレジット専用端末を除く、銀行、郵便局等の ATM の位置
F031	コインロッカー	Coin Lockers	コインロッカーの位置
F032	自動販売機	Vending Machine	自動販売機の位置
F033	ベンチ	Bench	ベンチの位置
F034	ゴミ箱	Rubbish Bin	ゴミ箱の位置
F035	階段昇降機／段差解消機	Stairway Platform Lifts / Vertical Platform	車椅子使用者等が階段や段差を移動する際にその移動を支援するための昇降設備の位置(階段昇降機の場合、その起終点の位置)
F036	充電ステーション	Charging Stations	電動車いす等の充電ステーションの位置
F037	案内サイン／案内板	Guide Sign	案内サイン、駅周辺案内図、施設案内図、触知図案内板、音声案内板等の案内板の位置(広告のみのサイネージは除く)
F038	バス停留所	Busstop	バス停留所の位置
F039	タクシー乗り場	Taxistop	タクシー乗り場の位置
F040	駐輪場	Bicycle Parking Lot	駐輪場エリアの代表点
F041	駐車場	Parking	駐車場エリアの代表点
F042	地図表記用注記	Notes for Map Representation	広場(有楽町駅前地下広場 A、動輪の広場)、通路(行幸ギャラリー)等の名称を地図注記として表現する位置

F043	ランドマーク	Landmark	移動や待ち合わせの目印となりうる彫像、模型、現代アート作品等の造形物の位置
F044	展示物	Exhibit	(博物館・美術館等における)展示品の位置又は展示エリアの代表点
F045	公衆無線LAN	Public Wi-Fi	公衆無線 LAN スポット(Wi-Fi アクセスポイント)の位置
F046	消火器	Fire Extinguisher	消火器の位置
F047	消火栓	Fire Hydrant	消火栓の位置
F048	火災報知器	Fire Alarm	火災報知器の位置
F049	非常誘導灯	Emergency Guide Light	非常誘導灯の位置
F050	音による案内設備	Sound Guidance Facility	改札口、コンコースからのエスカレーター、トイレ(鉄軌道駅内)、ホーム上の階段、地下鉄の地上出入口に設置されている音による案内設備の位置
F101	きっぷ売り場	Ticket Office	券売機、みどりの窓口等、鉄道をはじめとする公共交通機関のきっぷ及び入場券売り場の代表点
F102	定期券売り場	Commuter Ticket Office	公共交通機関の定期券売り場(有人)の代表点
F103	精算所	Fare Adjustment	チケット精算所(無人精算機を含む)の代表点
F104	駅事務室	Station Staffroom	駅事務室の部屋の代表点
F105	忘れもの預かり所	Lost and Found	施設の忘れ物預り所の部屋の代表点
F106	改札口	Ticketgate	鉄道駅で改札を行う場所の代表点
F107	売店/キオスク	Kiosk	公共的な通路にあるカウンター越しに商品の購入を行う商店の位置 例:キオスク、メトロピア、メルシー等
F108	出口	Exit	駅/地下鉄の出口の代表点
F109	インターホン	Interphone	駅/地下鉄の改札や入口に設置されているインターホンの位置
F201	保安検査場	Inspection Station	保安検査場の代表点
F202	チェックインカウンター (有人)	Check-in	有人のチェックインカウンターの位置
F203	旅券発券/自動チェック イン機(無人)	Passenger Ticketing/Automated Check-in Kiosk	旅券発券/自動チェックイン機の位置
F204	手荷物検査場	Security Checkpoint	手荷物検査場の代表点
F205	到着口	Arrival Gate	到着口の代表点
F206	搭乗口	Boarding Gate	搭乗口の代表点
F207	検疫所	Quarantine Station	検疫所の代表点
F208	税関	Customs	税関手続きカウンター等の代表点
F209	SIM 自販機	SIM Vending Machine	SIM の自動販売機の位置

F210	Wi-Fi レンタルサービス	Wi-Fi Rental Service	Wi-Fi のレンタルサービスを行っている店舗の代表点
F211	携帯電話レンタルサービス	Mobile Phone Rental Service	携帯電話のレンタルサービスを行っている店舗等の代表点
F212	ラウンジ	Private Lounge	空港のプライベートラウンジの部屋の代表点
F213	マッサージチェア	Massage Chair	マッサージチェアが設置されている位置
F214	両替所	Currency Exchange	両替所の代表点
F215	手荷物受取場所	Baggage Claim	手荷物受取場所の代表点
F216	手荷物カート置き場	Baggage Carts	手荷物カート置き場の代表点
F217	手荷物サービス	Baggage Service	手荷物サービスの代表点
F218	子供の遊び場	Children's Play Area	子供の遊び場の代表点
F219	盲導犬・介助犬許可エリア	Animal Relief Area	盲導犬・介助犬・聴導犬が利用可能な設備の代表点
F220	免税店	Duty Free	免税店の範囲の代表点
F221	入国審査所	Immigration	入国審査所の代表点

別表 8.3.2.占有者 POI のカテゴリー

コード	日本語名称	英語名称	備考
P001	アクセサリー店	Accessories	
P002	家電製品店	Appliances	
P003	アートギャラリー	Art Galleries	
P004	芸術・娯楽	Arts & Entertainment	
P005	自動車用品店	Auto Parts & Supplies	
P006	自動車販売店	Automotive	
P007	銀行・信用組合	Banks & Credit Unions	
P008	理髪店	Barber Shop	
P009	美容・スパ	Beauty & Spas	
P010	酒店	Beer,Wine & Spirits	
P011	書籍・雑誌・音楽・ビデオの販売店	Books,Mags, Music & Video	
P012	カフェ	Cafes	
P013	レンタカー店	Car Rental shop	
P014	文房具店	Cards & Stationery	
P015	子供衣料品店	Children's Clothing	
P016	映画館	Cinema	
P017	喫茶店	Coffee & Tea	
P018	コンビニエンスストア	Convenience Store	
P019	化粧品・美容雑貨店	Cosmetics & Beauty Supply	
P020	デパート	Department Stores	

P021	クリーニング店	Dry Cleaning & Laundry	
P022	教育機関	Education	
P023	眼鏡店	Eyewear & Opticians	
P024	衣料品店	Fashion	
P025	金融機関(銀行・信用組合を除く)	Financial Services	
P026	花屋	Florists	
P027	家具店	Furniture Stores	
P028	食料品・雑貨店	Grocery	
P029	美容院/美容室	Hairdresser	
P030	健康・医療サービス	Health & Medical	
P031	ホビーショップ	Hobby Shops	
P032	ホームセンター	Home & Garden	
P033	ホテル/宿泊施設	Hotels	
P034	宝飾店	Jewelry	
P035	ランドマーク・歴史的建造物	Landmarks & Historical Buildings	
P036	図書館	Libraries	
P037	衣料小物	Lingerie	
P038	地域の情報サービス	Local Services	
P039	手荷物預かり所	Luggage	
P040	医療施設	Medical Facilities	
P041	紳士服店	Men's Clothing	
P042	園芸店	Nurseries & Gardening	
P043	劇場	Opera & Ballet	
P044	舞台芸術	Performing Arts	
P045	ペットショップ	Pet Stores	
P046	薬局	Pharmacy	
P047	写真店	Photography Stores & Services	
P048	交番	Police Box	
P049	郵便局	Post Offices	
P050	その他のサービス	Professional Services	
P051	不動産施設の維持管理業者	Property Management	
P052	公共サービス・行政	Public Services & Government	
P053	不動産仲介業者	Real Estate Agents	
P054	不動産業者	Real Estate Services	
P055	レストラン	Restaurants	
P056	衣服リフォーム店	Sewing & Alterations	
P057	靴店	Shoe Stores	

P058	店舗	Shop	
P059	ショッピング施設	Shopping	
P060	土産物店	Souvenir Shop	
P061	特産食品店	Specialty Food	
P062	スポーツ用品店	Sporting Goods	
P063	観光案内所	Tourist Information Office	
P064	玩具店	Toy Stores	
P065	旅行営業所	Travel Services	
P066	動物病院	Veterinarians	
P067	時計店	Watches	
P068	婦人服店	Women's Clothing	
P999	分類不可	Other	上記カテゴリーでの分類が 不能なもの